

遠心濃縮機CC-105の使用状況と評価

TOMYのユーザーにご協力いただき、お聞きした使用状況とその評価です。
性能として保証するものではありませんが、参考例としてご覧ください。

注) 回答が無かったものは“-”としました。
注1) 評価の基準は次の通りです。4:満足 3:やや満足 2:やや不満 1:不満
注2) 提供いただいたユーザーの情報は、機関/社名のみ掲載しました。

まとめ: 2012年7月31日

識別 番号	目的	気化させるサンプル							使用年数	使用頻度	オイル交換周期	ロータ	トラップ	ガラストラップ			不凍液	ポンプ	評価注1)				機関/社名 注2)	コメント		
		酢酸	酢酸エチル	アセトニトリル	クロロホルム	ヘキサン	ベンゼン	アセトン						塩酸	アンモニア	その他のサンプル			スタンダード	低沸点用	使用しない	CC-105			トラップ	真空到達度
001	核酸関連化合物の濃縮								●	水	2年6ヶ月	週2回	1年	TCA-72	TU-500				-	-	3	4	4	4	北海道大学	
002	核酸Or有機化合物 蛋白質酵素分解物(ペプチド)	●	●	●						TFA(0.1%)水溶液	-	日1回	交換なし	-	TU-1000		●		使用	DTU-20	4	4	-	-	電気通信大学大学院	2段階の温度可変で加熱できるので、水などの高沸点サンプルも迅速に蒸発させることができ重宝している。
003	精製蛋白の濃縮、核酸精製、質量分析 計サンプルの調整		●					●		PBS, TFA	3年	週3回	6ヶ月	TCA-72	TU-1000				-	GCD-051X (耐食性)	3	3	3	3	帯広畜産大学	なるべくコンパクトなサイズが望ましい。
004	蛋白質の凍結乾燥									水溶液系	6年2ヶ月	週2回	その他	TCA-72	TU-105		●		使用せず	GCD-051X (耐食性)	3	3	3	3	農業生物資源研究所	
005	脂質抽出後の濃縮、乾燥			●	●					メタノール、ブタノール等 を含む有機溶媒	-	毎日~月1回 ばらつきあり	約2ヵ月毎	TCA-72	TU-1000	●			-	GCD-051X (耐食性)	4	4	4	4	大阪大学微生物病研究所	本装置は有機溶媒による腐食にも強く、使用しやすい装置だと思 います。当研究室では購入してから長い機関使用しておりますが、こ れまでにおおきなトラブルや故障はまだありません。使いやすさと 耐久性は大変よいと思います。使用時に注意することは、ヒーター のオン・オフがローター回転のタイマーと連動していません。早く 乾燥させようとしてヒーターをオンにして運転した際に、そのまま忘 れるとローターの回転は停止していても、サンプルは加熱され続け ていますので注意が必要です。 メンテナンスとしてはトラップの洗浄と冷却液としてのエタノールの 補充、それから現在の構成では油回転真空ポンプを使用してます ので、オイル交換を定期的に行う必要があります。オイル交換はオ イルに粘性があるので作業しにくかったり、その後の後始末が面倒 に感じられてしまう点もあります。
006	食品サンプル抽出液の分析							●		水	1ヶ月	週1回	-	-	-				-	-	4	4	4	4	シャープ株式会社	遠心濃縮機とガラストラップをつなぐホースがもう少し長いと使いや すいと思います。
007	蛋白質のゲル内消化		●							アセトニトリル(2~70% 溶液)	-	週3回	2~3ヶ月	TCA-72	TU-1000		●		-	GCD-051X (耐食性)	4	3	3	3	立命館大学	
008	アレイ解析用ラベリ化プローブの濃縮、 蛋白質溶液の濃縮										3年2ヶ月	週1-2回	交換なし	TCA-72	TU-500	●			使用せず	DTU-20	3	3	3	3	国立がん研究センター研 究所	温度制御がもう少しほしい。
009	DNA sequence, EtOH(エタノール沈殿)									70%EtOH(エタノール沈 殿)	5年	週2回	交換なし	TCA-72	TU-500	●			使用せず	DTU-20	4	4	4	3	京都産業大学	
010	逆相カラムで分取したペプチドの濃縮		●								5~6年	2-3回	1年	TCA-72 TCA-6	EYELA FDU-830				-	Yamato PD-102	3	3	3	3	第一三共	
011	細胞の濃縮・脂質の濃縮	●		●				●		メタノール	8年	週1回	-	TCA-72	TU-055				-	GLD-051 (非耐食性)	4	2	4	2	筑波大学	
012	マイコトキシン	●								PPT(かなり薄い)	(7年) 2005年から使用	週2回	1年	TCA-74	TU-055	●			使用せず	GCD-051X (耐食性)	4	4	4	4	鹿児島大学	
013	核酸									水	2年	週1回	1年	TCA-72	TU-1000		●		使用せず	耐食性	4	4	4	4	九州大学	
014	濃縮			●				●			5ヶ月	週3回	まだ行ってない	TCA-6	TU-1000	●			使用せず	SO-101 (耐食性)	4	4	3	4	東京都医学総合研究所	
015	濃縮		●							ギ酸、TFA	2年	-	交換なし	TCA-72 TCA-6	TU-1000	●			使用・ 使用せず	DTU-20	4	-	-	4	東京都医学総合研究所	
016	DNA風乾							●			16年	月2回	2年	TCA-6	真空凍結機				-	DW-120	4	4	4	4	東京大学	使用目的: 精製DNAの調整、新規ベクター作成時のみ使用。使用 頻度低。ストップまでの時間が長い。(遠心終了)
017	シーケンスサンプルの濃縮乾固									DNA溶液	8年 (平成16年4月1 日より)	日2回	-	TCA-11	TU-055			●	-	GCD-051X (耐食性)	3	3	4	3	京都大学	毎日お世話になっています。トラップのゴムパッキンが傷んで吸い が悪くなったことがあります。耐久性が上がると嬉しいです。プレ ートのスピンドウにも使うのに便利なので、ワンタッチでポンプと切 り離しても使えるとより便利です。
018	精製したDNAの乾燥									エタノール70%	15年	日2-3回	数年毎	TCA-72	TU-055	●			使用せず	GCD-051X (耐食性)	4	4	4	4	大阪大学大学院	
019	DNA,RNA,たんぱく質の濃縮									回答なし	9年	週3回	2年	回答なし	TU-105		●		使用せず	回答なし	3	3	2	4	ジェナシス株式会社	
020	サンプルの濃縮、溶媒除去・置換	●	●					●		水	7年	週2-3回	1年	TCA-72	TU-055			●	使用せず	GLD-051 (非耐食性)	2	-	4	4	奈良先端科学技術大学 院大学	本体のフタとローターまでの距離があまりないので、エッペンドルフ チューブのフタの向きに気をつけなければならず、そうすると一度 にたくさんSample tubeを入れると、チューブが互いに引っかかるの で、扱いを慎重にする必要があり、ちょっと使い勝手が悪い。
021	DNA濃縮									エタノール	2年	週3回	交換なし	TCA-72	使用しない		●		-	DTU-20	4	-	4	4	京都大学	ポンプの音が大きい。小型のものよりスピードが早くて良い。
022	MS用サンプル		●								-	2-3回	汚れを見て	TCA-72	MULTI TRAP (MT-3)		●		使用せず	耐食性	3	3	4	4	東大医科研	
023	液体の除去									緩衝液	5年	年5回	1年	TCA-76	TU-105	●			使用	GCD-051X (耐食性)	3	3	4	4	株式会社植物ハイテック 研究所	
024	薬物の濃縮		●	●							4年6ヶ月	月3回	交換なし	TCA-74	TU-1000		●		-	DTU-20	4	3	2	3	麻布大学	もっとコンパクトが望ましい。
025	DNA,ペプチド			●						アセトニトリル(ペプチド) エタノール(DNA)	回答なし	日1回	1ヶ月	TCA-72	TU-105		●		使用せず	GCD-051X (耐食性)	4	3	3	3	静岡県立大学	
026	核酸									エタノール70%	20年	週1回	1年	TCA-72	TU-040		●		-	非耐食性	4	4	4	3	産業医科大学	CC-101を使用
027	DNA,RNAの濃縮									水	8年	日3回	数年	TCA-72	TU-055	●			使用せず	GLD-051 (非耐食性)	4	-	4	4	産業技術総合研究所	不満ありません。よく使っています。
028	たんぱく質、サンプルの濃縮			●				●		アセトニトリル、アセトン	3ヶ月	週2-3回	2-3ヶ月	TCA-72 TCA-73	(LABCONCO) FZ-COMPACT -50℃		●		使用せず	ALS-150AC	3	3	3	3	東京工業大学	使用頻度もそんなに多くないので正式なデータをといわれてしま うと回答不可、参考までの使用例でよければ上記参照ください。
031	脂肪抽出の際に、有機溶媒の除去	●		●				●	●	メタノール	5年2ヶ月	月3回	-	TCA-72	-				-	-	4	-	-	-	九州大学	